

介護現場におけるICT・AI活用勉強会

～負担軽減から自立支援まで テクノロジーがひらく介護と暮らしの未来～

介護現場が抱える深刻な人材不足や介助者の負担増、在宅における自立支援や介護予防といった社会課題に対し、「課題と技術が会う共創の場」として、現場と技術の知見を結び付け、課題解決のヒントや新たな連携の可能性を探るとともに、川崎市総合リハビリテーション推進センターと連携し、多様な視点からの製品開発、活用につなぐことを目的とした勉強会を開催します。

こんな方におすすめ

- ▶ ICT・AIの活用を検討している
施設職員やケアマネジャー、管理者の方
- ▶ 介護現場を支えるICT・AI等のテクノロジーを
開発・製造している企業の方
- ▶ 関連業種とのつながりの中で意見・情報交換をしたい方

日時 令和7年8月28日（木） 14:00～17:00
(受付開始 13:30～)

会場 Kawasaki NEDO innovation Center（通称K-NIC）
川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階

費用 無料

申込 右記二次元コードから申込 8月7日（木）迄

主催 川崎市・東京科学大学・産業技術総合研究所

地図はこちら



申込はこちら



<問い合わせ先>

ウェルテック

TEL 044-223-6468

Email info@kawasaki-weltech.com

川崎市経済労働局イノベーション推進部

TEL 044-200-3226

Email 28innova@city.kawasaki.jp

川崎市では、東京科学大学、産業技術総合研究所と連携して運営する「ウェルテック」を拠点として、市内企業等の福祉製品等の開発を支援しています。総合リハビリテーション推進センターも入居する川崎市複合福祉センター「ふくふく」内に立地する特徴を活かして、福祉現場のニーズを収集や「模擬環境ラボ」を活用し、福祉製品の性能・安全性を科学的に評価するなど、開発・改良に向けた伴走支援を実施しています。

詳細はこちら



- 講演 -

▶ 第1部 14:05～

インフィック株式会社 執行役員 花島 一誠氏

「シンプルに考える介護 × DX

～DXの入口はIT活用ではない～」



▶ 第2部 16:10～

東京科学大学 教授 西田 佳史氏

「現場でのテクノロジーの利活用を

促進するための仕組みづくり」



- ポスターセッション - 14:30～

インフィック株式会社 花島氏・ウェルテックを含めた5つのブースでポスターセッションを行います。

株式会社emotive 「安心日記」

AIと喋ることでフレイル予防を目指すスマホアプリです。特に一人暮らしやプレフレイル・フレイル層の方々が興味を持ち、外出を促す目的志向の対話を行い、他者との接点を増やすことで健康を維持します。



vizo株式会社 「ケアパートナーAI」

声かけや感情への応答を通じて、高齢者に寄り添う“ケアパートナーAI”。現場の声から生まれた、福祉支援の新しいかたちです。

株式会社シーディーアイ 「SOIN (ソワン)」

SOINは、将来の状態予測やケアプランの自動作成機能を備え、ケアマネジメント業務全体を幅広く支援するAIケアマネジメント支援システムです。業務の効率化を実現すると同時に、ケアの質の向上にも貢献します。



※ポスターセッションとは

発表者が現在取り組んでいるテーマを1枚のポスターにまとめて発表することです。

発表者と参加者の距離が近く、一つのテーマに関連するアイデアや意見を交換できます。